
夕霧草

雅姫

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夕霧草

【Nコード】

N3227P

【作者名】

雅姫

【あらすじ】

恋愛関係知らない美優。

それを教える大倉雄斗。

それから大倉の前に立ちはだかるファンクラブ。

大倉はどう乗り越えるのか・・・

謎で溢れた君

夕霧草・・・それは8月22日の誕生花。

俺の名前は『大倉 雄斗』
おおくら ゆうと

部活は何も入部せず運動も出来ず勉強も出来るはずもない。でも・・・でも俺には一つ取り柄がある。

・・・それは『ルックス』

俺の学校にはどうやらファンクラブってのがあるらしい。

それで男子はランク付けされる。

俺は堂々の『S+』ランク。

S+はどうやら最高ランクらしい・・・

俺は思う・・・なぜ人にランクを付けるのか。

なぜ勉強も運動も出来ない俺が・・・最高ランクなのか。

話が変わって俺には好きな人が居る。

その子はとても謎で溢れている。

でも・・・俺はそいつ『遊部 美優』
あそべ みゆの秘密を知ってしまった。

それは・・・

「大倉！おはよう」

にしむら かいと
西村海翔が俺に話しかけてから挨拶をした。

「おお！海翔おはよう。」

「大倉・・・なんか元気ないね？」

「昨日夜更かししたからな。」

そう。昨日はずっと夜遅くまでギャルゲ・・・ゲームをやっていたからだ。

「珍しいな」

「ああ」

当たり前だ。俺は初めてお前に夜更かしをした。なんていったからな

「なあ・・・いきなりだけどよ・・・」

「なんだ？悩みか？？」

「いやあ違うんだけどよ・・・」

「なんだよ！行ってみるよ！！」

「じゃあ言うよ」

嫌な予感がした。

「北村いるじゃん？北村がさ、お前に伝えたいことがあるから今日の放課後理科室で待つてるってよ！」

と言つて海翔は逃げた・・・

「待てよ！！」

と行ったものの海翔は聞き耳を持たずに学校に向かって走つて行つた・・・

北村・・・北村^{きたむらさき}佐季・・・顔は可愛いが絶対誰に対しても敬語なんだよなアイツ・・・

とかなんとか考えてるうちに学校に付いた。

「雄斗君っ！おはようございます！！」

あつ・・・「北村佐季！」

俺は・・・最悪だ・・・これから1日意識して過ぐすのか・・・と思つと心が重くなつていった。

どうなるんだ・・・今日の俺・・・「今日の俺どうなるんだよ！！」

叫んでしまった。北村の目の前で。

謎で溢れた君（後書き）

短くてごめんなさい！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3227p/>

夕霧草

2010年12月6日00時05分発行